事業名 (事業開始年度) 【予算額】 担当課 【所管部会】	事業概要	R4年度実施実績	R5年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
工場夜景バスツアー (事業開始年度) H28~ 【R5予算額】 1,000千円	【事業目的】 区内外の企業や工場の見学を取り入れた工場で表別、スツアーの実施を通して、「産業の事を見と区民の誇り作りに取り組む。 【事業内容】・工場夜景バスツアーの実施	定員40人) ①令和4年10月1日(土)	見学先:㈱丸山車体製作所、東消防署、こうじ水作り体験など ②令和5年10月16日(月) 応募62人 1.55倍 見学先:新潟県消防防災航空隊、 (株)博進堂など ③令和5年11月7日(火) 応募185人 4.62倍 見学先:燕喜館(古町芸妓の舞観 賞)、旧斎藤家別邸など	工場夜景バスツアー (定員40人) 〇令和3年度 4回実施 229人応募(1.9倍) ※1、2回は受け入れ先との調整により定員20人で実施 〇令和2年度 4回実施 261人応募(2.18倍) ※1、2回はコロナにより定員20人で実施 〇令和元年度 4回実施 926人応募(5.8倍) 〇平成30年度 3回実施 665人応募(5.5倍) 〇平成29年度 2回実施 692人応募(9.2倍) 〇平成28年度 4回実施	【評価】 ①事業内容の妥当性 東区の工場夜景を核とした事業を展開することにより、観光資源の少ない東区の新たな観光資源として認知度が向上し、区民の誇りや愛着の醸成、交流人口の拡大に寄与している。 ②事業の効率性と費用対効果 事業については、プロポーザルにより選定された事業者に委託して実施している。 参加費は1人当たり5,000円としており、総事業費の概ね4割程度を参加費から支出している。一般的なバスツアーより参加費が割安となっていること、通常の旅行会社の企画では行けないような公共的施設を見学できることが人気となっていると思われる。 ③協働の視点 東区内の企業等に見学先として協力してもらうことをきっかけに、産業観光への理解や、産学で連携など他事業への協力に全に表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R4年度実施実績	R5年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
度より事業名を「地域 建語と水辺と共生プロジェ	域民生活課	することで、地域への愛着の醸成やにざわいの創出を図る。また、「じゅんさい池みらいプラン」に基づき、「じゅんさい池みらいプラン」に基づき、「じゅんさい池・水辺環境等の魅力発信・・じゅんさい池・水辺環境等の魅力発信・・じゅんさい池・水辺環境等の魅力発信・・じゅんさい池・水辺環境等の魅力を信・・世かんさい池・水辺環境等の魅力を信・・世かんさい池・水辺環境等の魅力を信・・世かんさい池・水辺環境等の魅力を信・・でゆんさい池・水辺環境等の魅力を信・・でゆんさい池・水辺環境等の魅力を信がある。	・子ども向けじゅんさい池リーフレットの配布(小学校5校、中学校8校)・じゅんさい池ナイトウオーク(8月26日(金))・総合学習支援(小学校1校、中学校2校)・イオンチアーズクラブ自然観察会支援・動く市政教室ガイド日時:令和4年4月14日(木)・東区PR動画の作成(東区PR動画の作成(東区PR動画の作成)・ひとづくりプロジェクトの中では、中ででの中では、中ででの中では、中ででの中では、中ででの中では、中ででの中では、中ででの中では、中ででは、中で	1 魅力発信 ・広報用動画の活用 ・じゅんさい池ナイトウオーク 日時:8月9日(水)19:30~21:00 内容:ガイドによる生き物の生態解説等 ・総合学習支援(小学校1校、高校2 大学1校) 内容:広報用動画の放映、スライド資料を用いた説明等 2 じゅんさい池オンサイトセミかの 16:10 内容:専門家 2 じゅんさい池オンサイトを表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	・総合学習支援(県立大学、東高 校、北高校、東山の下小学校) 595 人・じゅんさい池ナイトウオーク 参加者数:親子8組20人 (大人11名、光さも9名) ・じゅんさい池ナンサイトセミナー 参加者数:30人(予定) ・活動母体の基盤づくり 地域住民、区内事 ティングを開催 ■区民生活課分・自然環境保全活動 じゅんさい池の自然・企業職員・業者) ・前在認済数 ※悪天候のため中止	発信や自然環境保全活動を実施することは、地域の 誇りづくりや活性化に有効であると考える。 ②事業の効率性と費用対効果 総合学習の時間を活用し、多くの学生にじゅんさい 池の魅力を発信している。 ③協働の視点 地域住民と共に、活動母体の基盤づくりの支援や、 池の保全活動を行っている。 ④今後の事業展望 じゅんさい池については、ラムサール条約湿地自治 体認証に寄与できるような内容を検討実施し、じゅんさ い池以外の水辺環境については、関係課とも連携しな がら内容を検討実施していきたい。

	当課	事業概要	R4年度実施実績	R5年度実施実績	事業への区民参画	事業に対する担当課の評価
東区歴史ェクト (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を)	で、一や人文区らので化 【1 劇を 2 人含活 ス「 3 別を 2 人含活 ス「 3 別を 2 人会活 ス「 3 別を 2 人会活 ス 「 3 別を 2 人会活 ス 「 3 別を 2 人会活 ス 「 別から こうしゅう こうしゅうしゅう	事業目的別別のでは、	1 東区演「全球の 1945 ~ 1 東区演「全球の 1945 ~ 2 東区演「全球の 1945 ~ 2 東区演「全球の 1945 ~ 3 東区演「全球の 1945 ~ 3 東区域で 1945 ~ 3 東京では 1945	2 東区文化活動サポート事業 (1) 東区まんなか文化祭開催日:11月2日(木)~15日(水)/会場:①東区役所1階南ロエントランス吹抜部分:中学校体育祭応援パネル/②東区プラザ2階中央フロア:中学校・高校文化部作品展示 (2)県立大学生によるクリスマスツリーの装飾・展示/期間:11月25日(土)~12月25日(月)予定/会場:東区プラザ2階中央フロア	2 東区文化活動サポート事業 ・令和4年度東区まんなか文化祭 応募数 〇一般 個人:10人 団体:3団体 の内中学校表術部作品展示:東校 の4校 の体育祭応援パネル展示:東 が3 歴史普及啓発事業 ○東24人 の区内 歴史地区地域形ち石山 郷形ち石山 の下、石山、藤見、木戸・大の6校 3 歴史 世及文化 等楽ま き参加者 数:42人 の区内 中学校・下、大が日地・大手の一大手の一大手の一大手の一大手の一大手の一大大手の一大	歴史普及啓発事業は、引き続き公民館事業と協

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R4年度実施実績	R5年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
(争美開始年度)	区民生活課【第3部会】	「ごみのない美しいまちづくり」を推進するため、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取組により「クリーン東区」のイメージ定着を図る。 【事業内容】 1 東区クリーン大作戦	2 ボランティア清掃の支援 ・団体数 310団体 ・参加者数 23,142人	1 東区クリーン大作戦 今年度の東区クリーン大作戦は、 12地域コミュニティ協議会で実施。 合計6,364人の参加があった。 ・ごみの回収量 燃やすごみ 6.7トン 燃やさないごみ 0.08トン 粗大ごみ 0点 2 ボランティア清掃の支援 ボランティア清掃は10月末現在で 300団体の計画を受付。	1 東区クリーン大作戦実績 H19年度 参加者 1,040人 H20年度 参加者 2,789人 H21年度 参加者 4,455人 H22年度度 参加者 4,459人 H24年度度 参加者 6,502人 H25年度度 参加者 6,502人 H25年度度 参加者 6,735人 H26年度度 参加者 6,735人 H27年度度 参加者 6,418人 H301年度 参加者 6,754人 R2年度 参加者 5,284 R3年度 参加者 5,347人 R4年度 参加者 6,364人	【評価】 東区クリーン大作戦は各コミュニティ協議会が中心となって、地域の一斉清掃を行う取組が定着し、まちの美化とともに環境保全意識の向上が図られている。また、ボランティア清掃の取組促進と併せて、「クリーン東区」のイメージ定着が図られた。 【来年度の方針】 継続 1東区クリーン大作戦 2ボランティア清掃の支援 3不法投棄・違反ごみの抑制 ごみに関する啓発看板を作成し、要望のある自治会等へ配布する取組を行う。 ①不法投棄防止看板の作製及び配布 ②ごみ集積場の違反ごみ抑制看板の作製及び配布 【必要予算額】 1,000千円

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R4年度実施実績	R5年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
(車業問始年度)	建設課【第3部会】	し、賑わい創出につながるイベント等を実施する。また、「新潟西港」が持つ拠点性や航路等でつながる地域との連携を活かした取組も進める。 【事業内容】・地元まちづくり団体「山の下まちづくりセンター」を中心に、地元商店会や関連企業などと協力体制を組みながら、イベントの企画運営を進める。 ・新潟西港の特色や拠点性を活かしたイベントの開催。(飲食、物販)	に向け、新潟西港周辺でイベントを2回開催 【イベント】 光と船のきらめき! 山の下夜遊びランド(8月26日、27日開催)・みなとランド、みなとタワーの利用時間延長・飲食店の出店・分イトアップ、ワークショップ等の実施(参加者数)約7,000人(2日間推計)26日:約5,000人27日:約2,000人27日:約2,000人 山の下ハロウオンパーティー(10月29日のサイント・飲食店の出アップ、ハロウィント・飲食をカコスプレ・ステ金加トアップ、ハロウィン装飾等の実施(参加者数)約3,000人(推計)	【イベント】 光と船のきらめき!山の下夜遊びランド (8月27日、28日 開催) ・みなとランド、みなとタワーの利用 時間延長	づくり団体やコミュニティ協議会、企業等で構成する実行委員会を立ち上げ、企画や運営をおこなった。イベント当日の交通誘導や警備を、地元自治会より積極的に担っていただいた。 山の下地区活性化まちづくり実行委員会 【構成】 山の下まちづくりセンター 山の下地区コミュニティ協議会 桃山校区コミュニティ協議会 地元まちづくり団体 地元企業 東区役所	【評価】 ①事業内容の妥当性 新潟西港の新たな魅力として、「みなとの夜景」と地域の活性化を前面に出すイベントを実施し、東区及び山の下地区を代表するイベントになりえるほどの盛り上がりとなった。 ②事業の効率性と費用対効果 多くの来場者からイベントを楽しんでいただき、賑わいの空間として活用することが出来た。 ③協働の視点イベントの実施にあたり、山の下まちづくりセンターを中心とした実行委員会を組織しており、また、事業予算については、まちづくりセンターと区が負担金として支出している。 ④今後の事業展望産業のまち東区、港町である山の下地区を代表するイベントとして定着させ、地域の新たな魅力創出や活性化につなげていく。 【来年度方針】 継続東区及び山の下地区を代表するイベントとして、知名度向上や定着に努め、引き続き開催する。 【必要予算額】 3,000千円